

会報

ALUMNI BULLETIN OF AZABU UNIVERSITY

発行日:2025年10月1日
発行者:一般社団法人麻布大学同窓会
発行責任者:福山 守
〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
TEL:042-769-2183
FAX:042-759-0337
Email:doso@azabu-u.ac.jp
HP:https://azabu-doso.com/



令和6年度卒業式

CONTENTS

学長挨拶	大学の現状と目指す方向	学長 村上 賢	2
麻布大学	卒業生数・学位授与者数、国家試験結果、学部・大学院在籍学生数		3
平成23年	獣医学科卒業生およびv05 同期会・獣医保健看護学科1、2年次 クラス会		4
栃木県人会	・硬式庭球部創立50周年記念祝賀会		5
令和7年度	定時代議員会（議事抜粋）		6
令和6年度	同窓会 年会費納入について		10
麻布大学NEWS	「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」の中間評価で「S」評価を獲得		11
感謝状・訃報			11
同窓会 Information			12



麻布大学長 村上 賢
Murakami masaru

大学の現状と目指す方向

本年4月より学長を拝命いたしました村上賢です。本学は1890年創立以来、「学理探究と誠実なる実践」を建学の精神とし、現在は「地球共生系～ヒトと動物と環境の共生を目指して～」を教育理念に掲げ、動物・生命環境分野に強みを持つ大学として広く認知されてきました。

今年は創立135周年、神奈川県相模原市へ移転し麻布獣医科大学として開学して75周年、大学名を「麻布大学」としてから45周年という節目の年であり、このような歴史的タイミングで学長を任されましたことに大きな責任を感じ、身の引き締まる思いであります。

さて、昨今の高等教育界は大変厳しい状況に直面しています。全国の私立大学のおよそ6割が定員未充足となり、その傾向は今後ますます強まることが予想されます。大学運営の根幹である学生募集や安定した経営環境は、少子化・進学率の変動・社会構造の変化といった複雑な課題に晒されており、本学も例外ではありません。しかしこうした中、本学は2024年度に新設した獣医保健看護学科を含め全6学科で定員を充足し、大学運営としては順調な滑り出しを見せております。加えて令和7年実施の第76回獣医師国家試験では、合格者数・合格率ともに私立大学中トップという快挙も

成し遂げました。これは学生一人ひとりの高い志と、教職員のきめ細やかな支援やデータ解析の成果と自負しています。

また、2024年度に受審をした大学基準協会による機関別認証評価や獣医学教育分野別認証評価でも高い評価をいただき、「麻布出る杭プログラム」やリメディアル教育などの教育・学生支援に係る取組、さらにVR・ICTなどを活用した教育は、長所や特色として取り上げられています。

しかしながら、獣医学科を除く他学科の志願者数はここ5年間で減少傾向にあり、コロナ禍以前と比べると状況の厳しさが顕著になっています。現時点で全学科の定員は充足していますが、18歳人口の急減や大学間競争の激化を考えると、今後、学生確保がますます困難になると強く感じています。

とりわけ、大学にとって最大の課題は18歳人口の減少です。1992年に約205万人だった18歳人口は、2025年には約109万人となり、2040年には74万人と見込まれています。大学進学者数も2024年の63万人から2040年には46万人へと大きく減少し、「定員の7割しか埋まらない」時代の到来が現実味を帯びています。

地理的優位性のある神奈川県といえど、将来的には入学定員充足率が77%程度まで低下すると予想されています。このような中で、本学が今後も生き残り、発展を遂げていくには、教育・研究のさらなる質向上と「選ばれる大学」としての存在感の発揮が不可欠です。

一方で、今後数年は18歳人口の減少が比較的緩やかに推移する見通しです。だからこそ、安定している今を体制・態勢強化のチャンスと捉えています。私たちは、「動物・生命科学」という特化した強みをさらに磨き、国内外から優れた人材・学生を惹きつける磁力を持ち続けなければなりません。具体的には、魅力ある教育プログラムの構築、実践的教育の推進、キャリア支援体制や就職サポートの一層の強化、産学・地域・国際的な連携拡大、さらにはオンライン教育の充実や社会人学び直し層への対応など、多面的なアプローチが必要です。

また、時代の変化の中で、大学財政基盤の強化も重要な課題です。私学助成だけに頼らず、企業との連携深化、共同研究や寄附講座の拡充、競争的研究資金の積極的な獲得など、多様な収入源を確保していきます。文部科学省の補助金事業にも継続して挑戦し、「麻布出る杭プログラム」やDEI推進事業など独自性ある取

組を加速していきます。

そして何より、卒業生・同窓会の皆様が築いてこられた長い伝統とネットワークは、本学にとって最大の財産です。今後は同窓生の皆様との絆をさらに深め、キャリア支援・企業連携・PR・教育など様々な場面でご協力を得て、共に大学のブランド価値向上に一丸となって取り組みたいと考えています。同窓会との連携強化は、次世代の麻布大学人を育む最大の力となるでしょう。

大学の大きな変革には7～8年の歳月を要しますが、10年後・15年後を見据えて、今こそ果敢に挑戦し続け、選ばれ続ける大学でありたいと考えています。挑戦・変革・実行をモットーに、動物・生命科学分野で国内外を牽引する大学となるべく、邁進してまいります。どうか引き続き、本学へのご理解とご協力、そして温かいご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



2024年度 麻布大学 卒業生数・学位授与者数

学部	学科	合計 (人)
獣医学部	獣医学科	132
	動物応用科学科	120
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	74
	食品生命科学科	55
	環境科学科	50
計(学部)		431
大学院 獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	2
	動物応用科学専攻博士前期課程	37
	動物応用科学専攻博士後期課程	1
大学院 環境保健学研究科	環境保健科学専攻博士前期課程	9
	環境保健科学専攻博士後期課程	1
計(大学院)		50

(出典：令和6年度学校法人麻布獣医学園事業報告)

国家試験結果

第76回獣医師 令和7年 2月12日、13日実施			
区分	受験者数 (新卒者)	合格者数 (新卒者)	合格率
全国	1,047	877	83.8%
本学	119	107	89.9%

(出典：農林水産省ホームページ)

第71回臨床検査技師 令和7年 2月19日実施			
区分	受験者数 (新卒者)	合格者数 (新卒者)	合格率
全国	4,231	3,976	94.0%
本学	59	54	91.5%

(出典：厚生労働省HP及び
令和6年度学校法人麻布獣医学園事業報告)

2025年度麻布大学 学部・大学院在籍学生数

学部	学科	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
獣医学部	獣医学科	150	154	158	144	130	155	891
	獣医保健看護学科	82	75					157
	動物応用科学科	142	145	157	131			575
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	87	99	109	96			391
	食品生命科学科	52	48	56	42			198
	環境科学科	84	79	70	62			295
計(学部)		597	600	550	475	130	155	2,507
大学院 獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	9	3	5	15			32
	動物応用科学専攻博士前期課程	35	22					57
	動物応用科学専攻博士後期課程	3	0	3				6
大学院 環境保健学研究科	環境保健科学専攻博士前期課程	10	7					17
	環境保健科学専攻博士後期課程	1	0	2				3
計(大学院)		58	32	10	15			115

(出典：令和6年度学校法人麻布獣医学園事業報告)



2011年(平成23年)獣医学科卒業生およびv05 同期会開催報告 10年ぶりに和気あいあいと 次回に向けて連絡を

令和7年2月23日(日・祝)に東京駅近郊のレストランにて、第2回同窓会を開催しました。前回の2015年以降、5年毎に開催することを考えていた折にコロナの流行が発生したため、10年ぶりの開催となりました。

卒業後14年が経過し、盛り上がるか心配な部分もありましたが、石川県や滋賀県、関東一円から約30名が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、近況報告を全員で行うことができました。2時間だけの再会でしたが、互いの変化を認め合い、変わっていないところの多さに安心し、日々の悩みを話し合える、笑顔があふれる会となりました。次回に向けて連絡の簡素化を図りたく、本会の公式LINEを作成しました。以前からのFacebookグループにも掲載しておりますし、幹事へご連絡いただきましたら招待しますので、自分も2011年卒または

v05である！という方はぜひご登録ください。また本会はお子さんやご家族を同伴しやすいようにしています。今後も継続できるよう努めますので、気軽にご参加いただけますと幸いです。

同窓会幹事 熊野 加奈(旧姓:青山)



クラス会開催 獣医保健看護学科1、2年次

N学科交流会 とともに愛玩動物看護師をめざして！

獣医保健看護学科の1、2年生で任意参加の交流会を2025年6月5日に行いました。1年間本学科で過ごし、テストや多くの授業を受け、いろいろな先生方とかかわってきた2年生が、1年生に向けて授業と先生方の紹介を行いました。1年前私たちが知りたいと思っていたことを、しっかりと1年生たちに伝えることができて良かったです。また、学年の壁を越えたコミュニケーションをとるために、



ビンゴ大会を行いました。1、2年生混合のグループに分かれ、話し合いをしてビンゴカードに書く番号を決めてもらい行ったビンゴ大会は、とても盛り上がりしました。最後に、アイスやトッピングなどを用意して、各々好きなようにパフェを作ってもらいました。自分で作ったパフェを食べながら、グループごとに雑談を行いました。

2年生は1年生の学校での生活の様子を知ることができ、1年生はテストやサークルについて2年生にたくさん質問をすることができ、とても有意義な時間となりました。サークルや部活での交流を除くと、普段の学校生活では違う学年の子たちに会うことは少ないので、ゆっくりとお話をする事ができて、とても楽しかったです。これからも積極的に交流をして、愛玩動物看護師になるために一緒に頑張っていきたいです。

獣医保健看護学科 2年次 田崎 葵

TOCHIGI

栃木県人会

「ギョウパ(餃子パーティー)」開催報告

令和7年6月27日、麻布大学近くの鳥ふく(淵野辺)において、栃木県人会を開催いたしました。

同窓会栃木県支部は、平成24年度から栃木県人会の再立ち上げを支援し、その後も毎年県人会の開催を支え、支部と学生との交流を深めてきました。近年、コロナや本県での豚熱発生により開催を中止していましたが、今回6年ぶりの開催となりました。

参加者は、1年生から5年生の学生8名、小動物外科学研究室青木卓磨准教授、学園職員の後藤さんおよび栃木県支部会員8名、計18名になり、故郷の話や卒業後の就職のことなど話題は尽きず盛大な会となりました。

今年の大学祭では、同窓会ブースで栃木県支部が宇都宮餃子の実演販売を行います。県人会の学生さんの



協力を得て大学祭を盛り上げたいと思いますので、皆様には是非お越しいただければと思います。今後も学生と同窓会の関係を持ち続け、学生の皆さんに同窓会の存在を身近に感じてもらい、卒業後、同窓会に気軽に参加してもらえるよう努力していきたいと思います。

栃木県支部事務局 市川 優

硬式庭球部創立50周年記念祝賀会

「つながり」の尊さ・意義・重要性を感じて



2025年7月13日、中央区銀座「for ETERNITY」にて、硬式庭球部の創立50周年記念祝賀会が盛大に執り行われました。当日は、初代顧問の故藤本正典先生、第2代顧問の荻原利彦先生および現顧問をはじめ、北海道から沖縄県まで、昭和49年入学の先輩から令和6年入学の学生まで、総勢108人にご参集いただきました。半世紀の歩みを振り返るとともに、今後のさらなる発展を誓い合う、大変有意義な時間となりました。

式典は、鈴木尚人OB会長(平成17年卒業)の挨拶にて開幕し、現顧問・平健介先生(獣医学部寄生虫学研究室教授)および第2代顧問よりお言葉をいただきました。また、初代部員から現役部員に至るまで、多くの皆様より、貴重な思い出や現在の活動状況あるいは今後に向けた

抱負が語られ、世代を超えた想いの継承がなされました。会場内では、記念映像やスライドショーが常時上映され、参加者一同がその歴史を共有し、数々の笑顔と感動に包まれました。

他にも、今年度予定の「OBOGとの交流試合・練習」開催についての審議、還暦OBOGのお祝いなどが行われ、また、麻布カラー・紫色の50周年記念タオルが全員に配布されました。本祝賀会を通じて、世代を超えた交流がより一層深まり、部活動を通じた「つながり」の尊さ・意義・重要性を強く感じました。日頃より硬式庭球部の活動を支えてくださっている麻布大学そして関係各位に、心より感謝いたします。

麻布大学硬式庭球部OB会副会長
佐伯新介(平成21年卒業)



同窓会活動報告

令和7年度 第1回 理事会
令和7年5月31日(土) 開催
令和7年度 定時代議員会
令和7年6月21日(土) 開催



令和7年度 定時代議員会(議事抜粋)

■令和6年度事業報告

総括

学校法人麻布獣医学園から、私立学校法の一部改正に伴い、卒業生理事・評議員の推薦依頼があり、理事候補者3名及び評議員候補者10名を推薦し、推薦した候補者は、令和6年6月1日に理事、評議員に就任した。任期は、令和9年度定時評議員会の終結のときまでになる。主要な事業は、コロナ禍以前に戻り、順調に行われたが、正会員数の増加に努めたにもかかわらず、正会員数の減少に歯止めがかからなかった。

1 会議 原則、オンラインで開催した。

(1) 定時代議員会

ア 日時 令和6年6月15日(土)13時30分～15時20分
イ 場所 麻布大学本館第1会議(対面出席者)
ウ 出席代議員 60名 オンライン 33名
対面 8名 書面議決 19名 欠席代議員 9名
エ 出席理事 7名 オンライン 2名 対面 5名
オ 出席監事 1名 オンライン 1名
カ 議長 中山孝大、大仲賢二
キ 議事録署名人 中山孝大、大仲賢二、高橋岩雄、笹子良紀
ク 議事

(ア) 報告事項

- a 令和5年度事業報告の件
- b 令和6年度事業計画及び令和6年度収支予算の件

- (イ) 第1号議案 令和5年度収支決算承認の件
令和5年度監査報告

- (ウ) 第2号議案 役員選任の件

(2) 第1回理事会

ア 日時 令和6年5月25日(土)13時30分～14時30分
イ 場所 麻布大学本館第1会議(対面出席者)
ウ 出席理事 30名 オンライン 23名
対面 7名 欠席理事 19名 出席監事 2名
エ 議事
(ア) 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件
(イ) 第2号議案 令和5年度決算承認の件
(ウ) 第3号議案 令和6年度定時代議員会提出議題及び議案承認の件
(エ) 第4号議案 令和6年度定時代議員会書面議決権行使承認の件

(3) 第2回理事会

ア 日時 令和6年6月15日(土)16時30分～16時50分
イ 場所 麻布大学本館第1会議室(対面出席者)
ウ 出席理事 25名 オンライン 20名
対面 5名 欠席理事 6名 出席監事 1名
エ 議事
(ア) 第1号議案 会長選定の件
(イ) 第2号議案 副会長選定の件
(ウ) 第3号議案 担当理事及び委員承認の件

(4) 第3回理事会

ア 日時 令和7年3月22日(土)13時30分～14時30分
イ 場所 麻布大学本館第1会議室(対面出席者)
ウ 出席理事 26名 オンライン 19名 対面 7名
欠席理事 5名 出席監事 2名
エ 議事
(ア) 第1号議案 令和7年度事業計画承認の件
(イ) 第2号議案 令和7年度収支予算書承認の件
(ウ) 第3号議案 令和7年度定時代議員会招集の件

(5) 担当理事会

会員表彰規程に基づき推薦のあった会員の表彰について審議し

承認した。

(6) 委員会等

ア 交流委員会

大学祭について、メール等で調整し、事前準備、当日活動、撤収等を行った。

イ 広報委員会

- (ア) 会報及び学園情報の原稿について、メール等で校正等を行った。
- (イ) ホームページ、LINEを活用した。

2 正会員への勧誘促進

(1) 支部及び地区ブロック

非正会員に支部総会などへの出席を呼び掛け、正会員への勧誘を行った。

(2) 部会行事参加者に正会員への勧誘を行った。

ア 獣医師会

第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和6年度)での交流会

イ 動物応用部会

卒業生と在学生の集う会

ウ 生命・環境科学部会

就職業界研究会

(3) 卒業後初年、3年、5年、20年及び30年の一般会員に会報、学園情報及び電子版会報を紹介するチラシを提供し、勧誘した。

(4) 卒業式で卒業生に記念品及び加入促進案内(住所確認調査)を配付し、正会員への勧誘を行った。

3 支部及び地区ブロック活動への支援

(1) 支部及び地区ブロックが開催する事業経費の一部を補助した。

(2) 支部総会及び地区ブロック会議に派遣した大学教職員等の経費を負担した。

4 広報活動

(1) 会報・学園情報

ア 会報を10月及び3月に発行し、正会員、一般会員(卒業後初年、5年、20年及び30年)及び準会員(学生)の父母に配付した。

配布部数:15,462部(内訳:10月号 7,342部、3月号 8,120部)

イ 学園情報を印刷し、正会員及び一般会員(卒業後初年、5年、20年及び30年)に配付した。

配付部数:9,229部(内訳:10月号 4,538部、3月号 4,691部)

ウ 電子版会報(ホームページ)を紹介するチラシを作成し、一般会員(卒業後初年、3年、5年)に配布した。

配布部数:1,750部(内訳:10月号 906部、3月号 844部)

(2) ホームページ

活動を会員に広く周知するために、随時更新した。

6年度アクセス数:4,894件

お知らせ:13回、部会報告、支部総会開催報告、ホーム画面、役員名簿 更新

内容:「麻布獣医学園の卒業生理事・評議員就任の報告」、「同窓会会長選挙について」、「同窓会新役員の選任」、「大学祭の開催」、「第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会の交流会開催」、「同窓会報2024年版の掲載」、「卒業生と在学生の集う会の開催(動物応用部会)」、「就職業界研究会の開催(生命・環境科学部会)」

5 大学祭への参加

令和6年10月26日(土)・27日(日)に開催された大学祭に交流委員会を中心として、参加した。

来場者 約9,000人(昨年度 約7,600人)

(1) 落花生の販売(千葉県支部) 1日目に完売した。

(2) 黒豆の枝豆、黒にんにくの販売(兵庫県支部) 完売した。

- (3) じゃこ天の販売(愛媛県支部) 完売した。
- (4) 動物相談コーナー(千葉県・神奈川県・横浜市支部)
43件の相談が寄せられた。
- (5) 講演会「映像教材を主体とした新たな獣医実習教育の取り組み」
講師 高木哲教授(動物病院副院長)
会場 生命・環境科学棟201講義室
参加者 約100名

6 会員個人情報の管理と利用

- (1) 学校法人麻布獣医学園との「覚書」に基き今年度も卒業生名簿を随時更新した。
- (2) 「一般社団法人麻布大学同窓会の保有する個人情報の取扱いに関する規程」を遵守し、大学の事業、本会の事業(部会及び支部、ブロック活動)、同期会等に会員情報を提供した。

ア 大学の事業

- (7) 獣医学科卒業生後継者特別入学試験説明会及び卒業生子女等特別入学試験説明会のために1965年度以降の卒業生データを提供した。
- (4) 卒業生調査の為、令和5(2023)年、平成31(2019)年、平成26(2014)年及び平成21(2009)年卒業生データを提供した。
- (7) 朝日新聞「大学ランキング」アンケート回答の為、2024年の卒業生数を提供した。

イ 部会の事業

生命・環境科学部会正会員名簿を部会理事へ提供した。

ウ 支部の事業

静岡県支部(2)、茨城県支部、北海道支部、長野県支部(2)、神奈川県支部(2)、石川県支部、栃木県支部、鹿児島県支部、宮崎県支部、福井県支部、愛知県支部及び福岡県支部に宛名ラベルを提供した。

エ 同期会

獣医学科昭和45年卒(2)、同昭和54年卒、同平成6年卒、同平成11年卒、平成22年卒及び環境保健学部環境保健学科・衛生技術学科昭和57年卒の幹事に宛名ラベルを提供した。

7 部会活動

(1) 獣医部会

令和7年1月24日(金)～26日(日)に仙台国際センター(宮城県仙台市)で開催された第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和6年度)に参加する会員との親交を図るために「交流会」を開催した。
(来賓:小倉弘明理事長、福山守会長・宮手浩事務局長出席)
日時 令和7年1月24日(金)18:30～
会場 江陽グランドホテル(仙台市)
参加者 51名

(2) 動物応用部会

令和6年11月30日(土)に「卒業生と在学生の集う会」を開催した。
(伊藤悦子副会長出席)
会場 麻布大学8号館百周年記念ホール
参加者 動物応用科学科2年次 147名
卒業生 32名

(3) 生命・環境科学部会

令和6年11月13日(水)に「就職業界研究会」を開催した。(奥田雄二副会長出席)
会場 麻布大学大教室、8号館百周年記念ホール・6階講義室
参加者 在学生 約160名
卒業生 41名
31企業・団体

8 準会員(学生)への支援

- (1) クラス会、課外活動(自治会)及び大学祭(大学祭実行委員会)に対して補助をした。
クラス会 獣医保健看護学科1年次、臨床検査技術学科1年次、動物応用科学科2年次
課外活動 800,000円
大学祭 100,000円
- (2) 学内に飲料等の自動販売機(21台)、証明写真機(1台)及び複写機(1台)を設置し、市価より安価で飲料、カップ麺、証明写真等を提供した。
- (3) 卒業式で卒業生に記念品(名刺入れ)を贈呈した。
贈呈数:482個(名刺入れ 437個、ペン 45個)

9 福利厚生・表彰・慶弔事業

- (1) フリーデンドライニング、レンブラントホテル東京町田及び東横イン

横浜線淵野辺駅南口の福利厚生3施設について、ホームページ等で周知した。

- (2) 会員表彰規程に基づき功績顕著であった会員を表彰した。

武本成十氏(岡山県支部)

- (3) 慶弔規程に基づき弔慰金等を支給した。

ア 弔慰金及び弔電 0件

イ 弔電 4件

- (4) 災害救助法が適用された市町村に居住する正会員の住居の罹災に対して見舞金(10,000円)等を支給した。また、対象支部に見舞状を送付した。

ア 適用災害 11件(延べ107市町村)

イ 調査依頼支部 延べ20支部

ウ 見舞金 1件

エ 調査活動費 78件(調査対象者)

災 害	調査依頼支部(対象市町村数)
令和6年7月9日からの大雨災害	島根県(1)
令和6年7月25日からの大雨	秋田県(10)、山形県(16)
令和6年台風第10号に伴う災害	神奈川県(10)、岐阜県(2)、静岡県(5)、愛知県(1)、福岡県(1)、宮崎県(1)、鹿児島県(2)
低気圧と前線による大雨に伴う災害	石川県(6)
令和6年11月8日からの大雨	鹿児島県(1)
令和6年12月28日からの大雪	青森県(10)
流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故	埼玉県(1)
令和7年2月4日からの大雪	福島県(19)、新潟県(7)
令和7年2月17日からの日本海側を中心とした大災害	青森県(10)、新潟県(1)
令和7年岩手県大船渡市における大規模火災	岩手県(1)
令和7年3月23日に発生した林野火災	愛媛県(2)
11件	延べ20支部(延べ107市町村)

令和7年度事業計画

基本方針

コロナ禍後の社会情勢に対応した事業を展開し、会員相互の親睦を図り、麻布大学の発展に支援に寄与していく。

正会員(旧:維持会員)数が漸減していく傾向に歯止めがかからないことから、正会員数の増加に努めていく。

引き続き、一般社団法人としての内部体制及び内部規程等の整備を進めていく。

1 一般社団法人の運営

専門家の指導を受け、関係法令を遵守し、適正な法人運営に努める。

- (1) 税理士の指導を受け、適正な会計処理を行う。

- (2) 法務局への役員の変更登記を適切に行う。

- (3) 内部体制及び内部規程の整備を図る。

2 正会員への勧誘促進

各種事業を通じて、減少している正会員数の増加に努める。

- (1) 支部及びブロックが行う勧誘促進事業を支援する。

提出された勧誘促進事業計画に基づき経費の一部を補助する。
例:一般会員に会費の納入案内を送付し、正会員に勧誘する。

- (2) 各部会が行う事業に参加した一般会員を正会員に勧誘する。

ア 獣医部会:日本獣医師会獣医学術学会年次大会開催時の交流会

イ 動物応用部会:卒業生と在学生の集う会

ウ 生命・環境科学部会:就職業界研究会

- (3) 卒業後20年及び30年の一般会員に会報及び学園情報を提供し、正会員に勧誘する。

- (4) LINE公式アカウントを活用し、正会員の勧誘につなげる。

- (5) 卒業生に贈呈する記念品に勧誘案内文(住所確認調査)を同梱し、正会員に勧誘する。

- (6) 新入生に記念品及びLINEへの案内文を配布し、卒業後の正会員への勧誘につなげる。

3 支部及びブロック活動への支援

支部及びブロック活動を活発にするため、支援する。

- (1) 支部及びブロックの事業経費の一部を補助する。

- (2) 支部総会及びブロック会議に派遣する大学教職員等の経費を全額負担する。

4 広報活動

- (1) 会報

- 本会の活動を広く伝えるため、会報を発行する。
 ア 10月及び3月に発行し、正会員、卒業後20年及び30年の一般会員並びに準会員の父母に送付する。
 イ 卒業後初年、3年及び5年の一般会員に電子版会報（ホームページ）を紹介するチラシを送付する。
 ウ 正会員及び卒業後20年及び30年の一般会員に学園情報を送付する。
 (2) ホームページ
 本会の活動を会員に広く周知するために、ホームページを活用し、随時、更新する。
 (3) LINE
 新たな情報発信手段として開設したLINEの公式アカウントを活用して、本会の情報を発信していく。

- 5 大学祭への参加(10月25日(土)・26日(日))
 獣医部会、動物応用部会及び生命・環境科学部会は、地域住民及び準会員との交流を図るため、大学祭に参加し、次の催し物を行う。
 (1) 落花生の販売(千葉県支部)
 (2) 支部による地場産品等の販売
 (3) 動物相談コーナーの設置
 (4) にこにこ星ふちのべ商店街による飲食物の販売
 (5) 麻布大学アカデミー(仮称)
 発展的解散した麻布獣医学会及び麻布環境科学研究会に代わる事業として、大学祭2日目に講演会を麻布大学と共催する。
 今年度は学園創立135周年を踏まえた講演会とする。

- 6 会員個人情報の管理と利用
 会員の個人情報を適切に管理し、利用する。
 (1) 学園との「覚書」に基づき、会員名簿を随時更新する。
 (2) 一般社団法人麻布大学同窓会の保有する個人情報の取扱いに関する規程を遵守し、部会、支部及びブロック活動、同期会、研究室OB会等に会員情報を提供する。

- 7 部会活動
 (1) 獣医部会
 令和8年4月21日(火)～24日(金)に東京国際フォーラムで開催される第43回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和7年度)(第41回世界獣医師大会会期中)に参加する会員との親交を図るための「交流会」の開催を準備する。
 (2) 動物応用部会
 ①学生の進路・就職支援活動、②卒業生及び大学・学生の繋がり形成、③大学と社会の強い繋がり形成を目的として、大学の協力を得て、「卒業生と在学生の集う会」を開催する。
 (3) 生命・環境科学部会
 ①就職活動及びキャリア形成、②部会会員の親睦及び新たな正会員の勧誘を目的として、大学の協力を得て、「就職業界研究会」を開催する。

- 8 準会員への支援
 準会員の各種活動を活発にするため、支援する。
 (1) クラス会・県人会の開催、課外活動(自治会)及び大学祭(大学祭実行委員会)の開催に係る経費の一部を補助する。
 (2) 学内に飲料等の自動販売機、証明写真機及び複写機を設置し、市価より安価で提供する。
 (3) 新入生に、実習で使用する「白衣」を贈呈する。
 (4) 卒業式において、卒業生に記念品を贈呈する。
 (5) 「卒業生と在学生の集う会」及び「就職業界研究会」を大学の協力を得て、開催し、就職を支援する。
 (6) 会員表彰規程に該当する者を表彰する。

- 9 福利厚生・表彰・慶弔事業
 会員の福利厚生、表彰及び慶弔に関する事業を行う。
 (1) 現在の契約施設のフリーデyndaiニング、レンブラントホテル東京町田(旧ホテル ザ・エルシィ町田、旧ベストウエスタンレンブラントホテル東京町田)及び東横イン横浜線淵野辺駅南口の3施設では引き続きホームページで広報する。今後も良質な契約施設を増やし、会員の福利厚生に役立てる。
 (2) 本会の会員表彰規程に基づき会員の表彰を行う。
 (3) 本会の慶弔規程に基づく弔慰金等、災害救助法が適用された市町村に居住する正会員の住居が罹災したときの見舞金(10,000円、支部経由)等を支給する。

- 10 会議、委員会等の開催
 引き続き、オンライン会議を原則とする。やむを得ず対応できない場合は

- 対面出席とする。
 (1) 定時代議員会 令和7年6月(予定)
 (2) 理事会 第1回理事会 令和7年5月(予定)
 第2回理事会 令和8年3月(予定)
 (3) 担当理事会 必要に応じて開催
 (4) 委員会
 ア 交流委員会 必要に応じて開催
 イ 広報委員会 必要に応じて開催

■令和7年度収支予算書
 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

一般会計(単位:円)		(単位:円)		
科目	予算額	前年度予算額	増減	
I 事業活動収支の部				
1, 事業活動収入				
(1) 特定資産運用収入				
特定資産利息収入		500	0	
特定資産運用収入計	500	500	0	
(2) 受取会費・入金金収入				
正会員会費収入	5,600,000	5,800,000	△ 200,000	
準会員会費収入	1,212,000	1,212,000	0	
入金金収入	16,200,000	16,200,000	0	
受取会費・入金金収入計	23,012,000	23,212,000	△ 200,000	
(3) 事業収入				
自販機収入	3,200,000	4,300,000	△ 1,100,000	
複写機収入	100,000	100,000	0	
事業収入計	3,300,000	4,400,000	△ 1,100,000	
(4) 卒業生個人情報管理経費補助金収入				
卒業生個人情報管理経費補助金収入	1,500,000	1,500,000	0	
卒業生個人情報管理経費補助金収入計	1,500,000	1,500,000	0	
(5) 雑収入				
雑収入	20,000	20,000		
利息収入	5,000	5,000	0	
雑収入計	25,000	25,000	0	
(6) 寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
寄付金収入計	10,000	10,000	0	
事業活動収入計	27,847,500	29,147,500	△ 1,300,000	
2, 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
全会員共通支出	6,300,000	7,400,000	△ 1,100,000	
① 公開講座開催(麻布アカデミー)	0	900,000	△ 900,000	
② 大学祭参加費	1,100,000	1,100,000	0	
交流会費	300,000	300,000	0	
③ 会報発行費(印刷)	900,000	800,000	100,000	
同上(発送費)	2,500,000	2,500,000	0	
④ 卒業生個人情報システム費	1,100,000	1,100,000	0	
⑤ ホームページ運営費	300,000	600,000	△ 300,000	
⑥ 頒布物品製作費	100,000	100,000	0	
正会員対象支出	4,620,000	4,700,000	△ 80,000	
① 支部活動支援費	3,200,000	3,200,000	0	
② 正会員勧誘促進費	220,000	0	220,000	
③ 部会活動費(獣医部会)	0	300,000	△ 300,000	
部会活動費(動物応用部会)	300,000	300,000	0	
部会活動費(生命・環境科学部会)	300,000	300,000	0	
④ 福利厚生事業費	600,000	600,000	0	
準会員対象支出	5,250,000	3,650,000	1,600,000	
① 課外活動助成費	800,000	800,000	0	
② 卒業記念品・表彰	4,200,000	2,100,000	2,100,000	
③ クラス会・県人会開催支援	200,000	100,000	100,000	
④ 就職支援	0	600,000	△ 600,000	
⑤ 退会返還金	50,000	50,000	0	
事業税	900,000	900,000	0	
事業費支出計	17,070,000	16,650,000	420,000	
(2) 管理費支出				
給与手当支出	5,600,000	5,600,000	0	
臨時雇賃金支出	2,500,000	2,500,000	0	
福利厚生支出	700,000	700,000	0	
会議費支出	3,400,000	3,400,000	0	
交際費支出(慶弔費等)	100,000	100,000	0	
コピーサービス消耗品費支出	10,000	10,000	0	
事務管理費	520,000	520,000	0	
備品費支出	3,500,000	200,000	3,300,000	
印刷・消耗品費支出	700,000	700,000	0	
通信運搬費支出	500,000	500,000	0	
光熱水費支出	1,200,000	1,200,000	0	
雑支出(振込手数料等)	300,000	300,000	0	
法人化経費支出⇒公認会計士他	600,000	600,000	0	
管理費支出計	19,630,000	16,330,000	3,300,000	
事業活動支出計	36,700,000	32,980,000	3,720,000	
事業活動収支差額	△ 8,852,500	△ 3,832,500	△ 5,020,000	
II 投資活動収支の部				
1, 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
運営資金積立金資産取崩収入	0	2,300,000	△ 2,300,000	
特定資産取崩収入計	0	2,300,000	△ 2,300,000	
投資活動収入計	0	2,300,000	△ 2,300,000	
2, 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
奨学基金資産取得支出	100	100	0	
退職給付引当金資産取得支出	200,050	200,050	0	
同窓会基本金資産取得支出	500	500	0	
運営資金積立金資産取得支出	50	50	0	
特定資産取得支出計	200,700	200,700	0	
投資活動支出計	200,700	200,700	0	
投資活動収支差額	△ 200,700	2,099,300	△ 2,300,000	
III 財務活動収支の部				
1, 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0		
2, 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0		
財務活動収支差額	0	0		
IV 予備費支出				
当期収支差額	△ 9,653,200	△ 2,333,200	△ 7,320,000	
前期繰越収支差額	18,009,070	20,342,270	△ 2,333,200	
次期繰越収支差額	8,355,870	18,009,070	△ 9,653,200	

■令和6年度事業報告

令和6年度の次の書類について承認を求めます。
【承認】

1 収支計算書(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般会計(単位:円)			
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	500	12,071	△ 11,571
特定資産運用収入計	500	12,071	△ 11,571
(2) 受取会費・入会金収入			
正会員会費収入	5,800,000	5,707,000	93,000
準会員会費収入	1,212,000	1,305,000	△ 93,000
入会金収入	16,200,000	16,200,000	△ 720,000
受取会費・入会金収入計	23,212,000	23,932,000	△ 720,000
(3) 事業収入			
自販機収入	4,300,000	3,577,797	722,203
複写機収入	100,000	72,000	28,000
事業収入計	4,400,000	3,649,797	750,203
(4) 卒業生個人情報管理経費補助金収入			
卒業生個人情報管理経費補助金収入	1,500,000	1,500,000	0
卒業生個人情報管理経費補助金収入計	1,500,000	1,500,000	0
(5) 雑収入			
雑収入	20,000	0	20,000
利息収入	5,000	15,719	△ 10,719
雑収入計	25,000	15,719	9,281
(6) 寄付金収入			
寄付金収入	10,000	20,000	0
寄付金収入計	10,000	20,000	0
事業活動収入計	29,147,500	29,129,587	17,913
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出			
全会員共通支出	7,400,000	4,808,980	2,591,020
① 公開講座開催	900,000	0	900,000
② 大学祭参加費	1,100,000	909,527	190,473
交流会費	300,000	0	300,000
③ 会報発行費(印刷)	800,000	751,960	48,040
同上(発送費)	2,500,000	1,866,997	633,003
④ 卒業生個人情報システム費	1,100,000	1,100,000	0
ホームページ運営費	600,000	180,496	419,504
⑥ 頒布物品製作費	100,000	0	100,000
正会員対象支出	4,700,000	3,258,764	1,441,236
① 支部活動支援費	3,200,000	2,376,920	823,080
② 正会員勧誘促進費	0	17,710	△ 17,710
③ 部会活動費(獣医部会)	300,000	300,000	0
部会活動費(動物応用部会)	300,000	306,850	△ 6,850
部会活動費(生命・環境科学部会)	300,000	177,384	122,616
④ 福利厚生事業費	600,000	79,900	520,100
準会員対象支出	3,650,000	2,982,600	667,400
① 課外活動助成費	800,000	800,000	0
② 卒業記念品・表彰	2,100,000	2,063,600	36,400
③ クラス会・県人会開催支援	100,000	86,000	14,000
④ 就職支援	600,000	0	600,000
⑤ 退会返還金	50,000	33,000	17,000
事業税	900,000	596,500	303,500
事業費支出計	16,650,000	11,646,844	5,003,156
(2) 管理費支出			
給与手当支出	5,600,000	4,655,933	944,067
臨時雇賃金支出	2,500,000	1,602,740	897,260
福利厚生支出	700,000	607,188	92,812
会議費支出	3,400,000	1,372,060	2,027,940
交際費支出(慶弔費等)	100,000	32,826	67,174
コピーサービス消耗品費支出	10,000	4,674	5,326
事務管理費	520,000	510,323	9,677
備品費支出	200,000	0	200,000
印刷・消耗品費支出	700,000	718,917	△ 18,917
通信運搬費支出	500,000	141,038	358,962
光熱水費支出	1,200,000	1,062,299	137,701
雑支出(振込手数料等)	300,000	165,820	134,180
法人化経費支出⇒公租公課(登記等税金)	600,000	32,850	567,150
⇒公租公課(登記等税金)		510,840	△ 510,840
管理費支出計	16,330,000	11,417,508	4,912,492
事業活動支出計	32,980,000	23,064,352	9,915,648
事業活動収支差額	△ 3,832,500	6,065,235	△ 9,897,735
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(1) 特定資産取崩収入			
奨学基金資産取崩収入	0	12,945,160	△ 12,945,160
退職給付特定資産取崩収入	0	0	0
運営資金積立金資産取崩収入	2,300,000	0	2,300,000
特定資産取崩収入計	2,300,000	12,945,160	△ 10,645,160
投資活動収入計	2,300,000	12,945,160	△ 10,645,160
2. 投資活動支出			
(1) 特定資産取得支出			
奨学基金資産取得支出	100	12,952,362	△ 12,952,262
退職給付引当金資産取得支出	200,050	200,121	△ 71
同窓会基本金資産取得支出	500	1,613	△ 1,113
運営資金積立金資産取得支出	50	2,255	△ 2,205
特定資産取得支出計	200,700	13,156,351	△ 12,955,651
投資活動支出計	200,700	13,156,351	△ 12,955,651
投資活動収支差額	2,099,300	△ 211,191	2,310,491
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	△ 2,333,200	5,854,044	△ 8,187,244
前期繰越収支差額	20,342,270	18,489,034	1,853,236
次期繰越収支差額	18,009,070	24,343,078	△ 6,334,008

2 貸借対照表

一般会計(単位:円)		(単位:円)	
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現 金	649,351	456,154	193,197
普通預金	25,520,588	19,886,116	5,634,472
現金預金合計	26,169,939	20,342,270	5,827,669
(2) その他流動資産			
未収金	115,092	113,762	1,330
前払金	12,335	73,920	△ 61,585
貯蔵品	482,866	232,000	250,866
その他流動資産合計	610,293	419,682	190,611
流動資産合計	26,780,232	20,761,952	6,018,280
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
奨学基金資産	12,944,280	12,937,078	7,202
退職給付引当金資産	401,380	201,259	200,121
同窓会基本金資産	26,470,114	26,468,501	1,613
運営資金積立金資産	3,730,793	3,728,538	2,255
特定資産合計	43,546,567	43,335,376	211,191
(2) その他固定資産			
建物	169,668	188,208	△ 18,540
什器備品	0	171,034	△ 171,034
その他固定資産合計	169,668	359,242	△ 189,574
固定資産合計	43,716,235	43,694,618	21,617
資産合計	70,496,467	64,456,570	6,039,897
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	679,532	1,960,749	△ 1,281,217
前受金	1,227,600	0	1,227,600
預り金	47,156	80,169	△ 33,013
賞与引当金	193,000	187,000	6,000
流動負債合計	2,147,288	2,227,918	△ 80,630
2. 固定負債			
退職給付引当金	380,000	187,000	193,000
固定負債合計	380,000	187,000	193,000
負債合計	2,527,288	2,414,918	112,370
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	67,969,179	62,041,652	5,927,527
	(4,132,173)	(3,929,797)	(202,376)
正味財産合計	67,969,179	62,041,652	5,927,527
負債及び正味財産合計	70,496,467	64,456,570	6,039,897

3 財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」を採用している

(1) 重要な会計方針

ア 固定資産の減価償却法の方法 定額法によっている。

イ 引当金の計上基準

- ・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 特定資産の増減額とその残高

特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

一般会計(単位:円)		(単位:円)		
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
奨学基金資	12,937,078	8,082	880	12,944,280
退職給付引当資産	201,259	200,121	0	401,380
同窓会基本金資産	16,000,000	0	0	16,000,000
	3	213	0	216
	10,000,000	0	0	10,000,000
	379,987	1,400	0	381,387
同窓会基本金資産計	26,379,990	1,613	0	26,381,603
運営資金積立資産	3,728,538	2,255	0	3,730,793
合 計	43,246,865	212,071	880	43,458,056

(3) 収支計算書に対する注記

ア 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、預り金、前払金・前受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、次のイに記載する通りである。

イ 次期繰越収支差額に含められる資産及び負債の内訳

科 目	令和5年度末残高	当期減少額
現金預金	20,342,270	26,169,939
未収金	113,762	115,092
前払い金	73,920	12,335
合計	20,529,952	26,297,366
未払金	1,960,749	679,532
前受金		1,227,600
預り金	80,169	47,156
合計	2,040,918	1,954,288
次期繰越収支差額	18,489,034	24,343,078

4 正味財産増減計算書(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般会計(単位:円)			
科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産運用益	12,071	516	11,555
特定資産運用益計	12,071	516	11,555
②受取会費・入会金			
正会員会費	5,707,000	6,778,000	△1,071,000
準会員会費	1,305,000	1,390,500	△85,500
入会金	16,920,000	17,550,000	△630,000
受取会費・入会金計	23,932,000	25,718,500	△1,786,500
③事業収益			
自販機収益金	3,577,797	3,325,248	252,549
複写機収益金	72,000	58,355	13,645
事業収益金計	3,649,797	3,383,603	266,194
④卒業生個人情報管理経費補助金			
卒業生個人情報管理経費補助金	1,500,000	1,500,000	0
卒業生個人情報管理経費補助金計	1,500,000	1,500,000	0
⑤雑収益			
雑収益	0	5,134,724	△5,134,724
受取利息	15,719	152	15,567
雑収益計	15,719	5,134,876	△5,119,157
⑥受取寄付金			
寄付金	20,000	145,000	△125,000
受取寄付合計	20,000	145,000	△125,000
⑦奨学基金返済金			
奨学基金返済金	0	1,330,500	△1,330,500
奨学基金返済金	0	1,330,500	△1,330,500
経常収益計	29,129,587	37,212,995	△8,083,408
(2) 経常費用			
①事業費			
全会員共通	4,808,980	4,662,545	146,435
正会員対象	3,258,764	3,431,496	△172,732
準会員対象	2,731,734	2,771,900	△40,166
事業税	596,500	543,200	53,300
事業費計	11,395,978	11,409,141	△13,163
②管理費			
給与手当	4,468,933	4,791,298	△322,365
賞与引当金繰入	193,000	187,000	6,000
臨時雇賃金	1,602,740	2,930,800	△1,328,060
退職給付引当金繰入	193,000	187,000	6,000
福利厚生費	607,188	520,014	87,174
会議費	1,372,060	2,234,510	△862,450
交際費(慶弔費等)	32,826	61,760	△28,934
コピーサービス消耗品費	4,674	4,863	△189
事務管理費	510,323	489,797	20,526
印刷・消耗品費	718,917	2,597,758	△1,878,841
通信運搬費	141,038	358,126	△217,088
光熱水費	1,062,299	1,212,418	△150,119
雑費(振込手数料等)	165,820	200,667	△34,847
法人化経費	0	627,200	△627,200
寄付金	0	28,901,300	△28,901,300
公租公課	32,850	200	32,650
委託費	510,840	0	510,840
減価償却費	189,574	150,934	38,640
管理費計	11,806,082	45,455,645	△33,649,563
経常費用計	23,202,060	56,864,786	△33,662,726
評価損益等調整前当期経常増減額	5,927,527	△19,651,791	25,579,318
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,927,527	△19,651,791	25,579,318
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,927,527	△19,651,791	25,579,318
当期一般正味財産増減額	5,927,527	△19,651,791	25,579,318
一般正味財産期首残高	62,041,652	81,693,443	△19,651,791
一般正味財産期末残高	67,969,179	62,041,652	5,927,527
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	67,969,179	62,041,652	5,927,527

令和6年度 同窓会 年会費納入について

部会	獣医	動物 応用	生命・ 環境科学	特別 会員	未記載	合計
支部						
北海道	59	4	4			67
青森県	15		2			17
岩手県	24	3	3			30
宮城県	24	1	2			27
秋田県	21	2	4			27
山形県	57					57
福島県	50	1	1			52
茨城県	64					64
栃木県	49	3	4			56
群馬県	69	2	4			75
埼玉県	53	1	2			56
千葉県	81	4	14		3	102
山梨県	54		1			55
東京都						0
神奈川県	139	1	2		1	143
横浜市	115	2	3	1		121
新潟県	61	5	7			73
富山県	24		3			27
石川県	49					49
福井県	16	1				17
長野県	94		8			102
岐阜県	35					35
静岡県	80	3	17			100
愛知県	48	2				50
三重県	39					39
滋賀県	7					7
京都県	16					16
大阪府	49		3			52
兵庫県	108	4	2			114
奈良県	21		1			22
和歌山県	3		1			4
鳥取県	22	2				24
島根県	34	2	3			39
岡山県	45	1				46
広島県	77	3	7			87
山口県	22	2	2			26
徳島県	49					49
香川県	66					66
愛媛県	91					91
高知県	46	1				47
福岡県	57		3			60
佐賀県	16	3	1			20
長崎県	13					13
熊本県	49					49
大分県	25	2				27
宮崎県	38	3	3			44
鹿児島県	79					79
沖縄県	6	1				7
学園	30	5	9			44
支部合計	2,289	64	116	1	4	2,474
直納*	167	78	145			390
総合計	2,456	142	261	1	4	2,864

年会費を納入していただき、ありがとうございました。*直納:本部直接納入
※過年度分の追加納入も承っております。
お早めにご連絡をお願いいたします。

麻布大学 NEWS

文部科学省



「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」 の中間評価で最高評価「S」を獲得しました

女性研究者の キャリア支援を強化

麻布大学は、学部学生の約6割を女性が占める一方で、とりわけ指導的立場にある女性教員の割合が十分とは言えないという課題を抱えています。こうした現状を踏まえ、「女性研究者が活躍できる環境の整備と拡充」を目指して、2022年12月に「DEI推進センター(Center for Diversity, Equity & Inclusion)」を設立し、「つながる」をキーワードに、学長のリーダーシップのもと、多岐にわたる施策を推進してきました。

これまでの取り組みが評価され、文部科学省の科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」において、中間評価で最高評価となる「S評価」を獲得いたしました。

本事業では、以下の数値目標を掲げています。

- ・女性教員の応募比率および女性採用比率を30%に引き上げること。
- ・女性教員の指導的地位(上位職)在職率を26%に向上させること。
- ・女子学生の大学院進学率を高め、女性研究者全体の裾野を広げること。

2025年度以降は、女性研究者のキャリア形成支援をさらに強化し、学内外のネットワークの拡充に取り組んでまいります。また、教員だけでなく、事務職員を含む全ての構成員にとって柔軟で働きやすい環境づくりを進めており、個々の事情に応じた支援等を目指していきます。

また、こうした取り組みの一環として、本センターでは「麻布大学人材バンク」の運用を行っております。

こちらは、研究時間を確保したい研究者と、これまでの経験やスキルを活かしたいOB・OGの皆さま、地域の方とのつながりの場を目的とした取り組みです。ご関心をお持ちいただけましたら、ご登録いただき、ご活用いただけます。(性別を問わずご登録・ご活用いただけます。)

DEI推進センター

HP

<https://dei.azabu-u.ac.jp/>



〈関連情報〉

麻布大学人材バンクHP

<https://dei-jinzai.azabu-u.ac.jp/>



科学技術人材育成費補助事業HP

<https://www.jst.go.jp/shincho/hyouka/josei.shien.html>

ダイバーシティ研究環境実現
イニシアティブHP

<https://www.jst.go.jp/shincho/josei.shien/kan/r4.html>

都道府県の各支部長推薦により
麻布大学同窓会会長から
下記の方に感謝状が贈呈されました。

感謝状贈呈

武本 成十 様 令和7年3月10日
推薦者 岡山県支部長

志村 定雄 様 令和7年7月10日
推薦者 神奈川県支部長

支部長および事務局等を長年に
亘り努められ、支部の発展に
ご尽力いただいた方に対して
心より感謝申し上げます。

一般社団法人麻布大学同窓会
会長 福山 守



謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

死亡年	月	氏名	卒業年	居住地
令和3年		藤原 浩司	V昭和55年卒	兵庫県
令和5年	7月	大矢 淳一	E平成17年卒	神奈川県
令和6年	5月	宮良 當皓	V昭和46年卒	沖縄県
		多田 匡志	V昭和52年卒	栃木県
		佐々木 之子	V昭和51年卒	東京都
	7月	稲野 仁	V昭和41年卒	富山県
	8月	千葉 明	V昭和41年卒	福島県
	9月	新野 博俊	V昭和31年卒	山形県
		飯島 真房	V昭和48年卒	北海道
		谷森 修三	V昭和44年卒	兵庫県
	10月	岩倉 啓	V昭和24年卒	福島県
	11月	三守 弘	V昭和35年卒	香川県
令和7年	1月	星 栄	V昭和38年卒	福島県
	2月	重松 賢二	V昭和52年卒	愛媛県
	3月	百瀬 廣	V昭和34年卒	神奈川県
	4月	米山 公一	V昭和32年卒	島根県
		河野 彬	V昭和33年卒	愛媛県
	8月	函城 悦司	V昭和45年卒	兵庫県
		田中 克明	V昭和40年卒	大阪府
	9月	鈴木 武夫	V昭和37年卒	千葉県

(敬称略 V=獣医学科 E=健康環境科学科)

同窓会Information

01

令和7年度 大学祭「ぎゅうっとあつまれあざぶの森」 同窓会コーナー 開催予定 10月25日(土)・26日(日)



今年も同窓会コーナーでは、支部からの名産品の販売と動物相談コーナーを開催いたします。
同窓会員のみなさまご協力どうぞよろしくお願いいたします。

また、麻布大学アカデミー(主催 教務部 入試広報・渉外課)をサポートします。ぜひ遊びに来てください!!

麻布大学アカデミー

～卒業生による講演会～

日時 10/26(日)13:00～15:00

場所 2号館(生命・環境科学部棟)2F202講義室



2009年度 獣医学科 卒業
(獣医放射線学研究室 所属)

山下 邦枝

KUNIE YAMASHITA

大阪動物病院 獣医師
株式会社WOLVES HAND 就職担当
愛媛県立松山東高等学校出身

2007年度 健康環境科学科 卒業
(医動物学研究室 所属)

福田 弥生

YAYOI FUKUDA

アース環境サービス株式会社
営業本部 営業支援部 営業支援課
東日本担当
東京都・桐朋女子高等学校出身



支部からの名産品

「宇都宮餃子」栃木県支部より

みんな大好き宇都宮餃子!!

焼きたてを食べにきてください (☞ p5 栃木県人会)

「丹波黒枝豆と黒にんにく」兵庫県支部より

昨年大好評につき、今年も丹波黒枝豆を販売!!

直送で届いたばかりの黒枝豆を堪能してください

「らっかせい」千葉県支部より

毎年恒例の千葉県八街からのらっかせい!!

1日目で完売しますので、お早めにお求めください

動物相談コーナー

現役臨床獣医師の卒業生が対応しています。

今年もご協力をお願いいたします。

02

11/15(土)動物応用部会 動物応用科学科



「卒業生と在学生の集う会」

各業界で活躍中の卒業生が集い、
将来の夢と可能性を学生の皆さんに
お伝えします。

11/7(金)生命・環境科学部会 生命・環境科学部



「就職業界研究会」

卒業生のいる企業による合同説明会を
麻布大学内で開催します。
先輩からの就活アドバイスを直接聞く
ことができます。

03

同期会の開催報告など ぜひご投稿お願いいたします

- 1 掲載内容 : 同期会、叙勲や受賞など
- 2 文章 : 300字から500字程度
- 3 写真 : 1MB以上を希望
- 4 投稿方法 : メールまたは郵送
doso@azabu-u.ac.jp

※掲載については広報委員会で決定します。
※郵送等により受理した生写真は、発行後返却
いたします。

よろしくおねがいたします



LINE公式アカウントをはじめました

ID @723meuhc

同窓会活動の近況や大学構内の写真を
配信しています。ぜひ登録をお願いします。



同窓会報のカラー化について

同窓会報は、本号よりカラー印刷となりました。経緯としては、これまでカラー印刷として印刷費を要していた学園情報が廃止となり、また、これまでの白黒印刷とほぼ同額でカラー印刷ができる印刷会社が見つかったことにより、事務局および広報委員会で検討した結果、カラー印刷に変更となりました。引き続き、広報委員会の活動にご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人麻布大学同窓会 広報委員会

委員長 : 市原伸恒

委員 : 飯塚 修、井上真紀、黒田聡史、島津徳人、

曾川一幸、田原口智士、葉山 俊

印刷 : 株式会社ポストインネットワーク

